

Kaze Nimo Make Zu

カゼニモマケズ コンサート

～音楽の枠組みを超えた奇跡の融合～

Kaze Nimo Make Zu 2014.1.10 Friday 19:00

Producer Yasuo Koiso / Profile / Recommend CD / Web QR Code



●コイソヤスオ (ギタリスト、プロデューサー、作曲・編曲/宇都宮市出身)

16歳より Haru Takauchi 氏に師事し、県内外の Jazz Club 等で演奏活動を始める。『Me Her Band』等で、多数のオーディションにエントリーし優秀な成績を取る。現在、楽器店・音楽教室の代表を務める傍ら、ライブ、コンサート、プロデューサーを精力的に行なう。2012年12月『圧倒的な世界観！奇跡のポップス・マニャック・サウンド！』1stアルバム『Kaze Nimo Make Zu』をリリースする。



Artist Photo / Profile / Recommend CD / Web QR Code



●古田佳子 (唄・民謡/日光市出身)

民謡の魅力を多くの人々に伝えるべく、国境、ジャンルを越え様々な音楽、芸能とコラボレーションを意欲的に行っている。CRT 栃木放送「古田佳子和楽囃子が聴こえる」のパーソナリティーを務める。また、胡弓、二胡、尺八、津軽三味線、パーカッション等を駆使した『舞琉華瑠(ブリュール)』のリーダー。日本を代表する民謡歌手である。



●原みどり (ボーカル、作詞・作曲/宇都宮市出身)

財津和夫 with 原みどり「償いの日々」で歌手デビュー。3枚のソロアルバムを発売する。1994年、菊地成孔・河野伸と『SPANK HAPPY』を結成。後のJ-Popに多大な影響を与える事となる作品を次々と発表する。その後、明治・大正・昭和初期の流行り唄のユニット『チャンチキズ』を結成。老人ホームや施設での慰問ライブを行う。最新ソロアルバム『夜明け』好評発売中♪



●金指典男 (ドラム、パーカッション/宇都宮市出身)

EWF のカバーバンド『アイアム』をはじめ、『菊田俊介トリオ』、『チャンチキズ』、フラメンコ公演「ソロンゴヒター」参加など、県内外でのイベント、ライブ、コンサートに多方面で活躍中。「ミヤ・ストリートギグ」では長年にわたり実行委員を務め、近年は若手ドラマーの育成にも力を注ぎ、多数の有能な演奏家を育てている。本日は、パーカッションを演奏する。



●片野 篤 (ベース、キーボード、作曲・編曲/宇都宮市出身)

高校卒業後キーボーディストとしてプロ活動を開始するも、ベースの魅力に惹かれ渡米。NYにて高内春彦氏、グレッグジョーンズ氏に学ぶ。帰国後マルチプレイヤーとしてアーティストのサポート、レコーディング・ライブ、作・編曲・音楽制作活動を行う。現在、As' Music Link の代表と講師を務める傍ら『Hot Blood Brothers』、『Brown Bless Voice』、『菊田俊介Trio』等で活動中。



●豊嶋健太郎 (マニピュレーター、キーボード、作曲・編曲/鹿沼市出身)

自らがプロデュースするバンド『バリウスカプセルズ』のリーダー。2005年1stアルバムをリリース以降、翌年には2nd、2008年には「Marmaid」を発表する。スタジオワークでは、TBS系テレビアニメ「アイドルマスター」エンディングテーマにギタリストとして参加。TV/CM音楽の制作も手がけ、『Docomo』、『HONDA』等で多数の作品が採用され、更なる活躍が楽しみな音楽家である。



●高橋幹夫 (ドラム/宇都宮市出身)

ジャズに興味を持ち1985年渡米する。ジョー・ジョーンズJr氏に師事し、「55BAR」や「Village Gate」等、NYマンハッタンの名門ライブハウスでの演奏活動をする。2000年、活動拠点を日本に移す。現在、『高内「HARU」春彦(G)トリオ』、『岡安芳明(G)トリオ』、『中本マリ(Vo)グループ』、『Prime Time』等のレギュラードラマーとして活動中。



●イシヤロシヤ (ボーカル、ウクレレ、作詞・作曲/塩谷町出身)

2000年、FM栃木のクリスマスジングルにオリジナル曲が採用される。翌年、「はるる」「なつつ」「あきき」「ふゆゆ」4タイトルのCDをリリース。2007年、CRT 栃木放送の番組「イシヤロシヤのいそがばまわる」「イシヤとみどりのチャンチキ横丁」でパーソナリティーを務める。『チャンチキズ』での慰問活動の他、ライブ・イベント・コンサートなどで活動中。



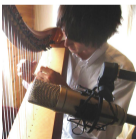
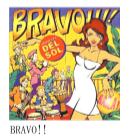
●岡部洋一 (パーカッション/スペシャルゲスト/東京都出身)

大学在学中にブラジル音楽と出会い、プロ活動を開始。現在、トランスロックバンドとしてコアなファンをもつ「ROVO」や、「ボンデー・フルーツ」、また16人編成のロックバンド、「ザ・スリル」のメンバーでもある。また、バーデン・パウエル等、来日ブラジル人ミュージシャンとの共演も多い。アグレッシブなプレイで心に火をつけるアーティスト的な打楽器奏者である。



●竹野昌邦 (サクソフ/マルチリード奏者/宇都宮市出身)

テナー・サクソフをメインとし、各種SAXの他フルート、クラリネット、バスクラリネットも扱う。今まで参加したアルバム、楽曲は数百あるいは千の数になる。現在、『南博Go There!』、『村田陽一-SOLID BRASS』、『オルケスタ・デル・ソル』、『深井克則バンドカリエント』、『水谷浩章LOW BLOW』等のメンバー。多大な賞賛を受けているマルチリード奏者である。



●安生正人 (ギタリスト、アイリッシュハープ/宇都宮市出身)

2008年から独学でギターを始める。技術に裏打ちされたテクニックから奏でられる楽曲たちは、ソロを感じさせない独特な華やかさがある。アコースティックイベントからクラブイベントまで、ジャンルレスに活動し幅広い層から支持を得る。アイリッシュ、古楽、北欧音楽等が好きで、トラディショナルな曲も交えながら、栃木県内外で活動をしている。本日はIrish Harpを披露。



●鈴木タケオ (ドラム・キーボード、ピアノカ/東京都出身)

幼い頃より音楽と楽器に親しむ。ジャズ、ポップス、テクノ、歌謡曲などボーダーレスに活動。レコーディング、セッションミュージシャンとして稼働。2004 SMEからバンド『TRA』としてメジャーデビュー。現在、米米clubのリーダー「Bon」氏、Big Horns Beeの「Flash金子」氏と『Shack-Sun』バイオリンロックバンド『Sword of the Far East』にて活動中。座右の銘・迷った時はきつね蕎麦



●甲斐良信 (ギタリスト/小山市出身)

平成2年9月20日生まれ。高校の軽音楽部に所属し様々な楽器に触れる。大学在学中より、片野篤氏に師事する。ループマシンを使い、1人でギターやピアノを演奏するスタイルで、栃木県内のカフェやバーを中心に活動している。2013年11月より、安生正人と共にクラシックからブルックミュージックのアプローチも取り入れた『フクロウ座』を結成し活動を行っている。



●岩田留美子 (バイレ・フラメンコ/宇都宮市出身)

スペイン語を学び始めたのをきっかけにフラメンコに興味を持ち、以来 大下まゆみ氏の下で研鑽を積み、現在に至る。毎年、短期渡西し、ロサ・サラテ、エステル・ファルコン等に師事。2年前よりカンテも学び、現地にてセンシ・マルトスに師事。現在、県内イベントなどで活動中。平成26年2月9日、小杉放菴記念日光美術館にてライブを行う。

